

2018年度 法科大学院

第4期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

設問

某ホテルを経営している代表取締役Pは、経費節減を徹底しようとして、ホテル内にスプリンクラーを設置しないままでいた。このことを、所轄の消防署から、消防法違反であり改善するようにと指導を受けたが、Pは無視していた。その後、Pが海外出張中に、ホテルから火災が発生し多数の者が死亡した。Pには業務上過失致死罪が成立するか。判例、学説を踏まえつつ、自説を論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)